

セピア色の恋物語

松下幹生

むか〜し むかし
小さなアパート 肩寄せあって
6畳ひと間に こたつとラジオ
やっとなんやんの 生活で
バイトの店の フランスパンを
互いに端から かじってたけど
二人はいつも 笑い合ってた
懐かしいよね あの頃が

むか〜し むかし
遊びたいなど せがんでみたら
ダンボール紙 広げてみせて
土手の草むら 滑り台
Gパン破れて 服泥だらけ
なんとかなるさと うそぶいて
お金は無くても 幸せだった
思い出すよね あの頃を

あれから40年
白髪も増えたし 孫も3人
今日は結婚 記念日で
皆が集まり 賑やかな夜
あなたと暮らした 至宝の時間

星になるまで
一緒に居てくださいね。

